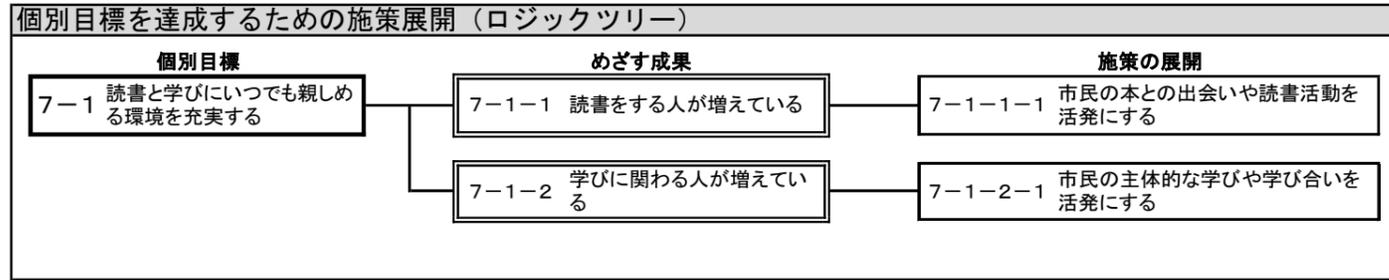


令和4年度 施策評価（二次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7-1	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する
	7-2	薫り高い文化芸術を創造・継承する
	7-3	地域のスポーツ活動を推進する



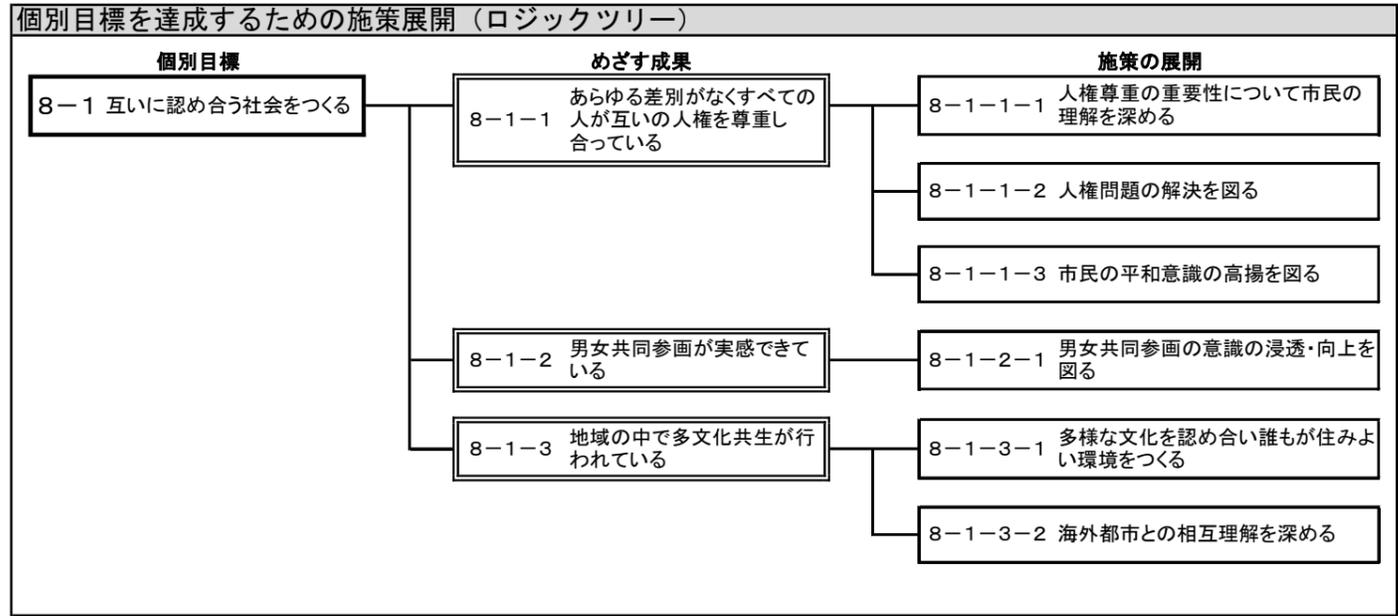
成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	実績値（R3）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
■めざす成果7-1-1						
① 市内図書館の年間来館者数	3,053,751人	4,002,361人	1,922,640人	3,010,193人	4,094,700人	4,177,000人
② 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	5.39冊	5.51冊	4.38冊	5.84冊	5.68冊	5.85冊
③ 図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数	3,103人	3,568人	1,470人	2,392人	3,310人	3,420人
■めざす成果7-1-2						
① 市民一人あたりの学習センター来館数	4.74回	8.64回	2.28回	5.72回	6.17回	6.42回
② 講座等の受講者数	12,523人	9,399人	3,236人	5,442人	13,400人	13,900人

令和2年度 施策の進行管理に対する意見（令和元年度分）

令和3年度 施策の進行管理に対する意見（令和2年度分）

令和4年度 施策評価（二次）結果（令和元年度～3年度分）

令和4年度 施策評価（二次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	8	市民の活力があふれるまち
個別目標	8-1	互いに認め合う社会をつくる
	8-2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
	8-3	地域活動・市民活動を活発にする



令和2年度 施策の進行管理に対する意見（令和元年度分）

めざす成果8-1-1「あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている」
 ■「地域に差別意識はないと思う市民の割合」、「男女が平等であると感じる市民の合」といった市民意識についての項目を見ると決して値が高いとは言えず、意識を向上させるためのより地道な啓蒙活動が必要であると考ええる。

めざす成果8-1-2「男女共同参画が実感できている」
 ■【再掲】「地域に差別意識はないと思う市民の割合」、「男女が平等であると感じる市民の合」といった市民意識についての項目を見ると決して値が高いとは言えず、意識を向上させるためのより地道な啓蒙活動が必要であると考ええる。

令和3年度 施策の進行管理に対する意見（令和2年度分）

（この欄は斜線で表示されています）

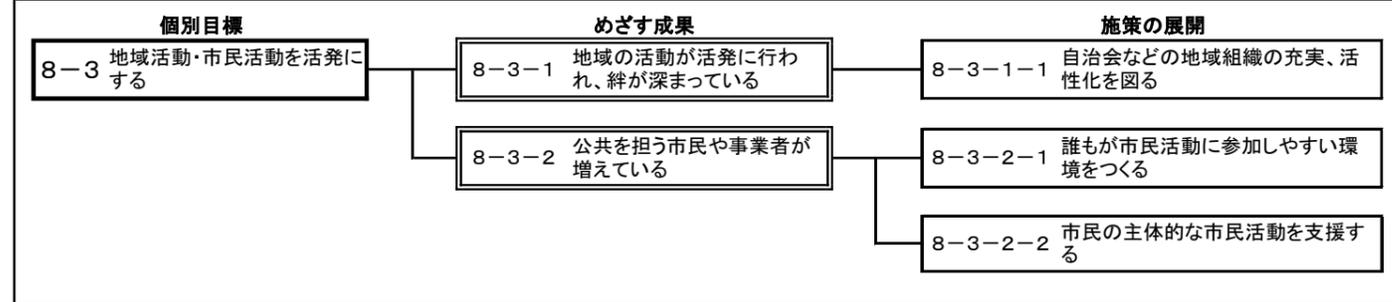
成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	実績値（R3）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
■めざす成果8-1-1						
① 地域に差別意識はないと思う市民の割合	66.9%			63.5%	74.0%	76.0%
■めざす成果8-1-2						
① 男女が平等であると感じる市民の割合	21.9%				26.0%	28.0%
② 審議会、委員会などにおける女性委員の割合	29.7%	32.2%	31.6%	31.7%	33.0%	35.0%
■めざす成果8-1-3						
① 多文化共生・国際交流が行われていると思う市民の割合	22.3%			26.4%	27.5%	29.5%
② 外国人を支援するボランティア登録者数	314人	476人	517人	425人	350人	380人

令和4年度 施策評価（二次）結果（令和元年度～3年度分）

（この欄は斜線で表示されています）

令和4年度 施策評価（二次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	8	市民の活力があふれるまち
個別目標	8-1	互いに認め合う社会をつくる
	8-2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
	8-3	地域活動・市民活動を活発にする

個別目標を達成するための施策展開（ロジックツリー）



成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	実績値（R3）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
■めざす成果8-3-1						
① 地域活動に参加している市民等の割合	24.3%			20.4%	29.3%	31.3%
② 自治会への加入世帯割合	66.1%	64.8%	62.7%	61.5%	68.1%	69.1%
③ コミュニティセンター1館当たりの年間平均利用者数	16,417人	13,299人	3,216人	6,643人	17,073人	17,402人
■めざす成果8-3-2						
① 市民活動センター利用登録団体数	139団体	169団体	200団体	156団体	230団体	250団体
② 市からのボランティア情報の提供者数	155人	130人	96人	3人	225人	271人
③ ベテルギウス（本館）年間来館者数	-	139,041人	58,145人	77,866人	75,300人	78,300人

令和2年度 施策の進行管理に対する意見（令和元年度分）

めざす成果8-3-1「地域の活動が活発に行われ、絆が深まっている」
 ■「地域活動に参加している市民等の割合」と「自治会への加入世帯割合」の指標値を見ても明らかなように、自治会に加入していても実際の活動に参加している人の割合はかなり少ないように思われる。（特にマンション住人）今後実施する市民意識調査結果を注視する必要がある。

めざす成果8-3-2「公共を担う市民や事業者が増えている」
 ■「ベテルギウス（本館）年間来館者数」に関して、ベテルギウスの発信力が弱いと感じる。

令和3年度 施策の進行管理に対する意見（令和2年度分）

（This section contains a large empty space, likely representing a redacted or missing report section.)

令和4年度 施策評価（二次）結果（令和元年度～3年度分）

めざす成果8-3-1「地域の活動が活発に行われ、絆が深まっている」

※めざす成果1-1-1「一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている」における自治会に関連する意見の再掲
 ■シニアクラブや自治会について、シニアクラブに60歳代が入会しにくい状況にある、シニアクラブの新規会員が少ないことで活動内容が硬直化する可能性がある、自治会の役員のみ手が少ないといった課題に対しては活動者数を増やし、活動を活発化することが有効です。そのためには、シニアクラブ会員以外の高齢の方も参加できるイベントを開催する等、これまでの発想を転換し、それぞれの活動内容をより魅力的になるように見直すことが必要と考えます。加えて、その成果を把握するために、シニアクラブや自治会が実施するイベント等への参加者数等を成果を計る主な指標に設定することが適切と考えます。
 ■シニアクラブや自治会のように始めから地域を限定することなく、市全体を対象として共通の趣味を持つ人がつながる仕組みを構築する、自治体によるイベント等を増やしてシニア世代の新たな居場所を提供する等により、新たなコミュニティを生み出し、そこから新たな地域のつながりもできる可能性があると考えます。
 ■自治会と地域住民をつなぐためには、自治会の仕組みは災害時の共助の観点から重要であることを理解してもらい、地域住民のスキルとニーズのマッチングを行った上で自治会への入会を依頼する（自治会への加入は強制しない）といった新たなアプローチも有効と考えます。